

行事案内	期 日	行 事 名	場 所	掲載ページ
本 部	2月18日(金)	水理講演会 水理公式集改訂に伴う講習会(京都) 岩盤力学に関するシンポジウム 映 画 会 第 58 回通常総会	東 京	1号本文 143 参照
	2月19日(土)		京 都	1号本文 142 "
	2月21日(月)			1号本文 141 "
	2月22日(火)			2号本文 156 "
	2月24日(木)			2号本文 144 "
2月25日(金)		土 木 学 会		
3月11日(土)		土 木 学 会		
5月29日(月)		東 京		
北海道支部	2月25日(金)	年次研究発表会	札幌市	2号本文 149 "
東北支部	2月22日(火)	技術研究発表会	仙台市	2号本文 150 "
関東支部	2月16日(水)	講習会	土木学会	1号本文 147 "
中部支部	2月17日(木)	講習会 見学会	名古屋市 同	2号本文 150 "
	3月21日(火)			2号本文 150 "
関西支部	2月15日(火)	懇話会 講習会 講習会 映画の夕 年次学術講演会	大阪市	12号本文 163 "
	2月16日(水)		同	11号本文 121 "
	2月17日(木)		同	2号本文 150 "
	3月14日(火)		同	2号本文 151 "
	3月15日(水)		同	1号本文 149 "
3月14日(火)		同		
6月5日(月)		同		
中国四国支部	5月25日(木)	支部総会および特別講演会 年次学術講演会 見学会	高松市	2号本文 152 "
	5月26日(金)		同	2号本文 152 "
	5月27日(土)		同	2号本文 152 "
西部支部	2月20日(日)	支部総会 研究発表会	福岡市	2号本文 153 "
	2月20日(日)		同	2号本文 153 "
そ の 他	2月15日(火)	第 10 回原子力総合シンポジウム 河川災害に関するシンポジウム 日本学術会議第 17 回材料強度と破壊国内総合シンポジウム 第 3 回安全工学国内シンポジウム 第 10 回接着研究発表会「複合材料と接着」シンポジウム	東 京	1号本文 151 "
	2月16日(水)		同	1号本文 144 "
	2月19日(土)		同	2号本文 147 "
	4月3日(月)		同	2号本文 147 "
	5月25日(木)		同	2号本文 148 "
	5月26日(金)		同	2号本文 148 "
6月7日(水)		同		
6月9日(金)		同		
お 知 ら せ	■ 論文報告集規定ページの変更について			1号本文 140 "
	■ 昭和 47 年度から特別会員会費の改正について			2号本文 144 "
	■ 昭和 47 年度から論文報告集購読料の改正について			2号本文 144 "
	■ 土木学会昭和 47 年度全国大会・第 27 回年次学術講演会実施要領			2号本文 145 "
	■ 評議員選挙告示			2号本文 146 "
	■ 理事ならびに監事選挙告示			2号本文 146 "
	■ 「土木製図基準」の価格改訂について			2号本文 146 "
	■ 第 12 回地震工学研究発表会講演募集			2号本文 146 "
	■ 「土木学会原稿用紙」の価格の改正について			2号本文 156 "
	■ 「土木学会誌」広告料金一部改訂について			2号本文 156 "

支 部 所 在 地

- 北海道支部：郵便番号 060・札幌市南1条西2丁目・勸銀ビル5階 (電 011-251-7038)
- 東北支部：郵便番号 980・仙台市二日町18-25・丸七ビル3階 (電 0222-22-8509)
- 関東支部：郵便番号 160・東京都新宿区四谷1丁目・土木学会総務課内 (電 03-351-4133)
- 中部支部：郵便番号 460・名古屋市中区三の丸3丁目 1-2・愛知県土木部道路建設課内
(電 052-961-2111・内線 2428)
- 関西支部：郵便番号 540・大阪市東区船場中央2丁目2番地・船場センタービル4号館409号
(電 06-271-6686)
- 中国四国支部：郵便番号 730・広島市基町10番3号・自治会館内 (電 0822-21-2666)
- 西部支部：郵便番号 810・福岡市薬院2丁目14番12号 (電 092-78-3716)

第 58 回通常総会のお知らせ <於東京>

▶ 5 月 29 日 (月) ◀

昭和 47 年の通常総会は、下記のとおり東京において開催しますのでお知らせします。

1. 期 日：1972 年 5 月 29 日 (月) 14.00～18.00
2. 場 所：私学会館講堂（東京都千代田区九段北 4-2-25）
（国電中央線市ヶ谷駅下車徒歩 3 分）
3. 総 会：14.00～15.30
 事 業 報 告
 決 算 報 告
 名 誉 会 員 の 推 挙
 土 木 学 会 賞 の 授 与
 新 役 員 の 紹 介
4. 特別講演：15.30～16.30 超高速新幹線について（仮題） 国鉄常務理事 長 浜 正 雄
5. 懇 親 会：16.40～18.00 私学会館ホール

昭和 47 年度から特別会員会費の改正について

（昭和 47 年 1 月 19 日の臨時評議員会にて土木学会規則一部改正議決）

近年相つぐ物価の昂騰、人件費の上昇、公共料金の値上げなどのために、昭和 46 年度から正会員および学生会費の会費をそれぞれ 50% 値上げしましたが、特別会員については等級の格上げ、新規入会の勧誘中でありましたので、会費の改正を 1 年間遅らせることにいたしておりました。

昭和 47 年度から次のとおり改正いたしますが、前回改正の時から満 6 年を経しておりますことでもあり、諸事情ご賢察下され、ご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

改正特別会員会費

（47 年 4 月から）

特 級	250 000 円以上
1 級 A	150 000 円
1 級 B	90 000 円
1 級 C	50 000 円
1 級 D	25 000 円
2 級（学校および図書館）	10 000 円

昭和 47 年度から論文報告集購読料の改正について

近年論文報告集は、登載論文報告編数が増加の一路をたどり、ここ 2 年間 1 冊平均 70 ページから 130 ページと 85% 増となりました。これに加えて印刷単価その他諸物価の値上りなどもありましたので、昭和 47 年度から購読料を次のとおり改正いたすことになりました。

諸事情ご賢察下され、ご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

改正論文報告集年間購読料

（47 年 4 月から）

3 000 円（外地は 12 アメリカドル）

なお、新規購読開始、継続購読中止のいずれの場合も 47 年 3 月末日までに申出下さい。

土木学会昭和47年度全国大会・第27回年次学術講演会実施要領

土木学会第27回年次学術講演会は、昭和47年度全国大会学術講演会として、昭和47年10月20日(金)、21日(土)、22日(日)の3日間、福岡市内において開催することになりました。

講演要領その他は下記のように決まりました。従来通り、概要集作製は学会本部担当、プログラム編成は支部担当ですので、講演申込先は西部支部、講演概要の原稿提出先は学会本部となります。講演希望者は期限までに講演申込み(期限5月15日西部支部 必着)ならびに講演概要の原稿提出(期限7月17日 土木学会本部 必着)をして下さい。

1. 実施期日：昭和47年10月20日(金)、21日(土)、22日(日)

2. 実施場所：九州大学(福岡市箱崎)

3. 講演要領：

① 講演時間：講演時間は1題あたり約15分(質疑討論・交代時間を含む)とします。

② 発表方法：研究論文は各部門とも、個人発表または総括報告形式として発表します。個人発表は原則として1題ごとに質疑討論を行いません。

総括報告形式では同じ種別の論文数編ずつを、総括報告者がまとめて報告し、その後に各著者への質疑討論を行いません。

③ 方式の決定：個人発表とするか、総括報告形式とするかは、各自の希望を参考に学会で決定し、学会誌7月号に掲載します。

④ 講演部門：講演部門は、次の5部門に分けます。

第I部門：応用力学・構造力学・橋梁など

第II部門：水理・水文・河川・海岸・港湾・発電水力・衛生など

第III部門：土質力学・基礎工学・岩盤力学など

第IV部門：道路・鉄道・都市および地域計画・交通計画・測量など

第V部門：コンクリートおよび鉄筋コンクリート・土木材料・施工法など

4. 講演申込：

① 講演者の資格：講演者は個人の土木学会会員に限ります。連名者は非会員でもさしつかえありません。

② 講演内容：原則として未発表のものに限ります。

③ 申込題数：全部門を通じて講演者1人1題に限ります。

④ 申込方法：所定の申込カードを使用して下さい。申込カードは各支部に準備してありますから、所属支部へ請求して下さい。

⑤ 申込期限：5月15日(月)必着のこと。期限後到着のものは受理できません。

⑥ 申込あて先：下記へ直送して下さい。

〒810 福岡市薬院2丁目14番21号 土木学会西部支部全国大会講演係

5. 講演概要原稿：

① 概要の目的：講演概要は聴講者に内容を徹底させ、あわせて講演時間を短くし、かつ来聴できない会員に講演内容を速報するために作成します。

② 内容：講演概要は一般会員がこれによって十分理解できるよう、研究の考え方と結論をわかりやすく書いて下さい。

③ ページ数：原稿の長さは原則として、2ページとします。超過する場合でも4ページまでとします。4ページを超えるものは受け付けません。

④ 原稿用紙：原稿をそのまま縮写してオフセット印刷としますので、所定の原稿用紙を用いて下さい。原稿用紙は執筆要領とともに各支部に準備してありますから、所属支部へ請求して下さい。

⑤ 提出期限：7月17日(月)必着のこと。期限までに原稿提出のないものは、講演申込みを

取消します。

- ⑥ 提出あて先：下記へ直送して下さい。

〒160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会全国大会講演概要集係

6. 講演概要集頒布：講演概要集はすべて有料です。学会誌7月号とじ込み予定の購入申込書によってお申込み下さい（申込期限8月31日予定；申込先土木学会西部支部内全国大会講演係，送本9月下旬予定，土木学会全国大会講演概要集係より送本します）。講演者（連名者を除く）には各自の原稿の別刷30部を贈呈しますが，特別の増刷はいたしません。

講演概要集申込あて先 〒810 福岡市薬院2丁目14番21号

土木学会西部支部内全国大会講演係

7. 講演申込者へお願い：講演申込みならびに講演概要原稿提出は必ず期限を守って下さい。期限後到着のものは，プログラム編成，概要集の編集と印刷の作業進行上，全く余裕がありませんので受理いたしません。

講演・概要集・関係日程一覧

講演申込カード，原稿用紙，執筆要領	請求先	所属各支部
講演申込：申込期限 5月15日（月）	申込先	土木学会西部支部内全国大会講演係
講演原稿：提出期限 7月17日（月）	提出先	土木学会本部内全国大会講演概要集係
概要集購入：申込期限 8月31日（木）	申込先	土木学会西部支部内全国大会講演係
概要集送本：予定日 9月下旬	送付者	土木学会本部内全国大会講演概要集係

評議員選挙告示

昭和47年評議員選挙を各支部ごとに4月末までに執行いたします。各支部の評議員新定数は，47年1月31日現在における所属会員数（規則第18条により）に比例，按分した結果下記のとおりです。

支 部	北 海 道	東 北	関 東	中 部	関 西	中国四国	西 部	合 計
評議員数	6	5	42	12	22	6	7	100

理事ならびに監事選挙告示

昭和47年理事ならびに監事の選挙を47年4末日までに執行いたします。

「土木製図基準」の価格改訂について

土木製図基準は1970年版を大幅に改訂したこと，印刷経費の増大などにより次のとおり価格を改訂いたしましたので，お知らせいたします。

	定 価	会員特価	送 料	備 考
1970年版	1400円	1200円	200円	1970年版は絶版とする。
1972年版	1600円	1450円	200円	

第12回地震工学研究発表会講演募集

下記により第12回地震工学研究発表会を開催致しますので，講演ご希望の方はふるってご応募下さい。

- 期 日：1972年7月18日（火）～19日（水）
- 会 場：土木学会土木図書館講堂
- 募集規定：

- (1) 講演内容：理論，実験，耐震設計の事例，復旧工事，震害等
- (2) 申込方法：4月17日（月）までに題目，講演者氏名（連名の場合は登壇者に○印をつける），勤務先，連絡先を明記し，土木学会耐震工学委員会あてお申込み下さい。ただし，講演の採否は土木学会耐震工学委員会にご一任下さい。
- (3) 講演概要原稿締切期日：6月5日（月）厳守
講演概要はオフセット印刷致します。原稿の長さは1題目刷上り4ページ以内（図・表・写真を含み6480字）とし，所定の原稿用紙にタイプまたはスミ書きにして下さい。なお，講演時間は1講演 15～20分（質問時間を含まず）の予定です。

第7回岩盤力学に関するシンポジウム

▶ 2月24日（木）～25日（金）◀

標記シンポジウムを下記により開催致しますので，多数ご参加下さるようご案内致します。なお，今回は二つのテーマにつきパネル討論を行ないますのでご承知おき下さい。

1. 期 日：1972年2月24日（木）～25日（金）
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷1丁目無番地）
3. 主 催：土木学会岩盤力学委員会
4. 参 加 費：無料
5. 講演概要：会場にて実費頒布致します。なお，“岩盤力学文献目録”を巻末に掲載する予定ですのでご了承下さい。
6. プログラム：本誌第57巻1号141ページ参照

日本学術会議第17回材料強度と破壊国内総合シンポジウム ▶ 4月3日（木）◀

共 催：日本学術会議強度と破壊分科会・日本機械学会*・日本金属学会*・日本鉄鋼協会・日本材料学会・日本材料科学会・日本材料強度学会・日本学術振興会（*は幹事学会）

協 賛：土木学会ほか

趣 旨：今回は，前回のように最近の研究発表，総説，展望的解説，問題点の提起をふくめた選定講演をとり上げました。ふるってご参加下さい。

1. 日 時：1972年4月3日（月）9.15～17.05
2. 会 場：農協ビル9階ホール（東京都千代田区大手町1-8-3）
東京駅丸の内北口，神田駅西口より徒歩約10分
交通の便：地下鉄丸の内線，東西線，千代田線大手町駅下車
3. 参 加 費：無料。なお，シンポジウム論文集（活版印刷約150頁，1部1000円送料とも）がありますから，希望者は代金を添えて，3月15日までに下記へお申込み下さい（以後は当日会場売り）。
4. 申 込 先：〒980 仙台市大手1-1-13（東活ビル内）日本金属学会
5. プログラム：
 - 開会の辞（9.15） 日本学術会議強度と破壊分科会 委員長 東北大学教授 横堀 武夫
 - 選定題目シンポジウム（9.20～11.45）＜昼食＞（13.00～15.25）
 - Part I ミクロ（微視）とマクロ（巨視）の結びつけに関するシンポジウム
 - 選定題目シンポジウム（15.35～16.55）
 - Part II 強さの確率論的アプローチに関するシンポジウム

第3回安全工学国内シンポジウム

▶ 5月25日（木）～26日（金）◀

共 催：日本学術会議安全工学研究連絡委員会安全工学分科会・安全工学協会・電気学会・土木学会・日本化学会・日本機械学会*・日本建築学会・日本鉱業会（*印は幹事学会）

標記大会を次の要領で開催します（入場無料）ので，多数ご参加下さいますようご案内します。

1. 開催日：1972年5月25日(木)、26日(金)
2. 会場：日本学術会議講堂(東京都港区六本木7-22-34)
3. 講演申込要項：
 - a) 講演内容：すでに発表されたものでもさしつかえないが、最近の研究に属するものが望ましい。
 - b) 内容部類別：①火災、爆発防止に関する安全工学、②有害物質、有害環境に関する安全工学、③人間と機械に関する安全工学、④故障を含む信頼性工学、⑤建設(土木・建築)に関する安全工学、⑥電気に関する安全工学、⑦その他
 - c) 講演割当時間：1件20分(討論5分を含む)
 - d) 講演の採択等：申込講演の採択およびプログラム編成は、本シンポジウム実行委員会に一任のこと。
 - e) 申込書式：申込用紙はB5判(週刊紙と同じサイズ)を縦長に使用し、次の④～⑩の5項を必ず記載し、“第3回安全工学国内シンポジウム講演申込”と題記すること。④内容部類別番号、⑤講演題目、⑥概要200字以内、⑦講演者(*印を付ける)ならびに連絡者の各氏名、勤務先、所属学会会員資格、年齢、⑧申込者(講演者)の詳細通信先
 - f) 申込期限：1972年3月15日(木)
 - g) 申込先：各所属学会あて
4. 予稿集原稿：
 - a) 原稿提出期間：1972年4月10日(月)
 - b) 原稿用紙：講演申込者には、折返し所定原稿用紙(B4判1292字詰)を送付する。この用紙に図表を含めて2枚以内にスミ書のうえ、上記期限までに幹事学会へ提出願います。

第10回接着研究発表会「複合材料と接着」シンポジウムの講演募集

- 主催：日本接着協会・応用物理学会・近畿化学工業会・高分子学会・色材協会・自動車技術会・繊維学会・電気学会関西支部・土木学会・日本化学会・日本機械学会・日本建築学会・日本ゴム協会・日本材料学会・日本木材学会・溶接学会
1. 日時：1972年6月7日(水)、8日(木)、9日(金)
 2. 会場：大阪科学技術センター(大阪市西区靱1丁目)
 3. 特別講演：3件(依頼中)
 4. 研究発表：①接着研究発表会、発表10分、討論10分、②「複合材料と接着」シンポジウム、発表15分、討論15分
 5. 研究発表の内容：①接着研究会発表会、接着に関連があるすべての研究；たとえば、(A)物性、(B)界面現象、(C)合成、(D)接着加工、(E)分析、(F)試験法、(G)その他
②「複合材料と接着」シンポジウム、複合材料と接着に関連があるすべての研究
 6. 申込締切：1972年3月20日(必着)
 7. 申込方法：申込書(自作で可、透明コピー用紙に黒インキで記入すること)に下記事項を明記、郵送のこと。
(A)研究発表会、シンポジウムのいずれかの別、(B)演題、(C)研究者(氏名、勤務先、住所、電話、発表者に○印)、(D)講演内容(200字程度、目的、方法、結果)、(E)分類(物性、合成、加工など)
 8. 講演要旨締切：4月30日(必着)
申込者には本会所定の写真印刷用原稿用紙をお送りします。
4月30日の締切日に要旨未着のときは、講演中止として取扱います。
研究発表会には1480字詰原稿用紙2枚、シンポジウムには4枚とする。(枚数厳守)
 9. 申込取消し：プログラム編成に差支えますので、1日も早くお願いします。
 10. 申込先：郵便番号550 大阪市西区江之子島 大阪府立工業奨励館内
日本接着協会年会係 TEL.(443)1121 内線280
 11. 関東連絡先：郵便番号152 東京都目黒区大岡山 東京工業大学高分子工学科(畑研究室内)
日本接着協会関東支部年会係 TEL.(726)1111 内線2152

北海道支部行事案内 (郵便番号 060 札幌市南1条西2丁目 勸銀ビル5階)
電話 011-251-7038 振替 小樽 20603

(1) 年次研究発表会

▶ 2月 25日 (金) ◀

1. 期 日: 1972年2月25日(金) 9.10 開会

2. 会 場: 北海道建設会館9階(札幌市北4条西3丁目 電 261-6181)

3. 参 加 費: 無料(入場歓迎)

4. 論文発表プログラム:

【】技術編

〔〕学術編

第1会場

- 【1】 9.20~ 厚岸大橋の上部工設計について 釧路土現 小山義之・古矢清己・○河口逸雄
- 【2】 9.30~ 三径間連続斜張橋の架設—石狩河口橋— 開発局 高橋陽一・木元喬之・○新山 惇
- 【3】 9.40~ 石狩河口橋下部工事の施工について 清水建設 谷口紳義
- 【4】 9.50~ 紅葉山線夕張川橋梁の設計と施工について—デビダーク工法— 鹿島建設 齋藤富男
- 10.00~ □討 議~11.00<開発局【1】道【2】業界【3】【4】>
- 【5】 11.00~ 炭酸ガスが突出した水路トンネル掘削工事 戸田建設 森 勝平・○早坂 拓・岩見孝司
- 【6】 11.10~ 紅葉山線・新登川トンネルの蛇紋岩区間の施工について 大成建設 橋本和久・○戸田基平
- 【7】 11.20~ 紅葉山線見附すい道の施工について 鉄道公園 掛端政弘・○舩本海洋治
- 11.30~ □討 議~12.15<北電【5】国鉄【6】【7】>
- 12.15~ 昼食休憩
- 【8】 13.00~ 新冠ロックフィルダムの二次結切の施工管理 北電 酒井賢一・○阿曾康夫
- 【9】 13.10~ 室蘭港北外防波堤建設工事について 開発局 松山方彦・○梅沢一之・横田 実
- 13.20~ □討 議~13.50<開発局【8】道【9】>
- 【10】 13.50~ 北海道の幹線道路網について 開発局 竹中勝好
- 【11】 14.00~ 室蘭圏の交通計画について 道・土木部 川口孝太郎
- 14.10~ □討 議~14.40 <道【10】開発【11】>
- 【12】 14.40~ 札幌市における地域の諸指標と交通事故について 北大 山崎正則・板倉忠三
- 【13】 14.50~ 勾配部道路容量についての一考察 北大 堀江清一
- 【14】 15.00~ 札幌市の地域別に見た交通事故の特徴について 北大 山本隆幸・板倉忠三
- 15.10~ □討 議~15.55 <札幌市【12】【14】開発局【13】>
- 【15】 15.55~ 待ち行列モデルによる二車線道路の交通流解析 北大 板倉忠三・○堀江清一
- 【16】 16.05~ 街路信号制御に関する一考察 北大 板倉忠三・○今 信二・清水建設 齋藤裕二
- 16.15~ □討 議 16.45 <道【15】【16】>
- 閉 会 16.45

第2会場

- 【1】 9.20~ 孤立波の打ち上げ高さに関する実験的研究 北大 ○佐伯 浩・尾崎 晃
- 【2】 9.30~ マトリックス法による月降水量のシミュレーション 北大 星 清
- 【3】 9.40~ 河川合流点における流れの機構の研究 北大 板倉忠興
- 9.50~ □討 議~10.35<土試【1】【2】【3】>
- 【4】 10.35~ アスファルト合材の動的応答に関する研究—主としてその概念と測定法について 北大 ○笠原 篤・菅原照雄
- 【5】 10.45~ 剛性マトリックス法による曲線材を含む立体構造物の解析について 北大 芳村 仁・奥村 勇・○岩上淳一
- 【6】 10.55~ 立体トラス橋の解法とその計算方法について 室工大 中村作太郎
- 【7】 11.05~ 骨組構造の最適設計(その1)—トラス構造物のサブ最適化— 北大 杉本博之
- 11.15~ □討 議 12.15<土試【4】室工大【5】コンサルタント【6】【7】>
- 12.15~ 昼食休憩
- 【8】 13.00~ 折板理論による曲線箱桁構造の解析について 北大 芳村 仁・○藍沢憲吉
- 【9】 13.10~ 横桁の振り剛性を考慮した格子桁の解法 北大 渡辺 昇・○竹田俊明
- 【10】 13.20~ フィーレンデル桁の弾塑性解析と計算 北大 渡辺 昇・○阿部芳昭
- 13.30~ □討 議~14.15<室工大【8】【9】土試【10】>
- 【11】 14.15~ 沈埋構造物の帯板要素法による応力解析 室工大 能町純雄・松岡健一・○越後隆一
- 【12】 14.25~ 鋼管パイル基礎の応力解析について 室工大 能町純雄・松岡健一・○沢田知之
- 【13】 14.35~ ホーロースラブの応力計算について 室工大 能町純雄・尾崎 暁・大島俊之・○佐藤 博
- 14.45~ □討 議 15.30<北大【11】土試【12】北学園【13】>
- 【14】 15.30~ Point Matching による有孔板の解析とその応用について 北大 芳村 仁・○小間憲彦・谷中幸和
- 【15】 15.40~ トポジカル一致を有する構造物間の収斂について 室工大 能町純雄・松岡健一・○佐藤 隆
- 【16】 15.50~ 軸対称問題の円板要素による応力解析 室工大 能町純雄・○松岡健一
- 16.00~ □討 議 16.45<室工大【14】北大【15】北学園【16】>
- 閉 会 16.45

▶ トンネル技術講習会テキスト頒布

体 裁: B5判 84 ページタイプオフセット

頒 価：定価 700 円 会員特価 500 円 (〒 55 円)

残 部 数：280 冊

内 容：

1. トンネルの調査・計画について／太田皎一郎□2. アーストンネルの施工計画について／山本 強□3. 山岳鉄道トンネルの施工(紅葉山トンネルの掘削工法)／金子 英慈□4. 海底トンネルの施工／土屋 敬□5. 道路トンネルの計画と施工／大谷 光信□6. 札幌地下鉄工事の概要と施工／高橋 睦雄

東北支部行事案内 (郵便番号 980 仙台市二日町 18-25・丸七ビル)
電話 0222-22-8509

(1) 昭和 46 年度技術研究発表会

▶ 2 月 22 日 (火) ◀

1. 期 日：1972 年 2 月 22 日 (火)
2. 場 所：宮城県民会館 3 号室, 4 号室 (6 階)
仙台市国分町 3-3-7
3. 定 員：150 名, 参加費無料 (ただし講演概要集は希望者にのみ当日会場にて実費頒布)
4. プログラム：本誌第 57 巻第 1 号 145~146 ページ参照

中部支部行事案内 (郵便番号 460 名古屋市中区三の丸 3 丁目 1 番 2 号
愛知県土木部道路建設課内・電 052-961-2111 内線 2428)

(1) 支部講習会

▶ 2 月 17 日 (木) ◀

1. 日 時：1972 年 2 月 17 日 (木)
2. 場 所：愛知県産業貿易会館第 1 会議室
3. 受 講 料：200 円
4. 申 込 方 法：受講希望者は土木学会中部支部へご連絡下さい。
5. 題 目・講 師：

10.00~10.10	開 会 換 拶	
10.10~11.10	土木構造物の耐震	建設省土木研究所振動研究室長 栗林 栄一
11.20~12.30	ロス地震における道路橋とダム破壊	建設省土木研究所構造橋梁部長 大久保忠良
12.30~13.30	昼 食	
13.30~14.30	地すべりの型と対策	建設省土木研究所急傾斜地崩壊研究室長 渡 正亮
14.40~15.40	り面工の実地調査	建設省土木研究所地質化学部長 今西 誠也

(2) 第 3 回見学会

▶ 3 月 21 日 (火) ◀

1. 日 時：1972 年 3 月 21 日 (火) 9.00 出発
2. 見 学 先：中部電力浜岡原子力発電所
3. 参 加 費：200 円
4. 申 込 方 法：参加費を添えて 3 月 11 日までに中部支部へお申込みください。
5. 集 合 場 所：名古屋テレビ塔北観光バス発着所

関西支部行事案内 (郵便番号 541 大阪市東区船場中央 2 丁目 2 番地船場センタービル 4 号館)
409 号 電話 06-271-6686 番 振替口座大阪 82599 番)

(1) 講習会「騒音振動公害」

▶ 3 月 14 日 (火) ~ 15 日 (水) ◀

——測定と評価の問題点とその動向——

1. 日 時：1972 年 3 月 14 日 (火), 15 日 (水) 10.00~16.30
2. 会 場：大阪科学技術センター 8 階大ホール 電話 大阪 (06) 443-5321 番
大阪市西区靱 1 丁目 118 番地 (地下鉄四ツ橋線本町下車北へ 150 m 靱公園北東角)
3. 題 目と講 師：

第 1 日 (3 月 14 日)

10.00~10.10	閉会挨拶	土木学会関西支部長 田中 茂
10.10~10.50	① 騒音振動公害の動向	関西大学教授工学部 医博 庄司 光
11.00~12.00	② 騒音測定器と測定法	大阪府公害監視センター主査 工博 中村 隆一
13.30~14.30	③ 騒音の人体に対する影響と評価法	京都大学教授工学部 医博 山本 剛夫
14.40~15.40	④ 騒音の現場から見た問題点	神戸市開発局主査 吉沢 博
15.50~16.20	質疑応答	
第2日 (3月15日)		
10.00~11.00	⑤ 振動測定器と測定法	福井大学教授工学部 工博 鳥海 勲
11.10~12.10	⑥ 振動の人体感覚と評価	立命館大学教授理工学部 工博 畠山 直隆
13.30~14.30	⑦ 振動の現場から見た問題点	(株)大林組技術研究所振動研究室長 渡辺 清治
14.40~15.40	⑧ 騒音振動関係法規	大阪府環境保健局 環境部 水質騒音課長 谷川 敏夫
15.50~16.20	質疑応答	
16.20~16.30	閉会挨拶	土木学会関西支部幹事長 後藤 尚男

4. 定 員：300名(先着順)

5. 参 加 費：会員 3 300 円 (テキスト代を含む)

ただし、講習会当日は 5 000 円となりますので期限内に前納して下さい。

非会員 5 000 円 (テキスト代を含む)

6. 申 込 期 限：1972 年 2 月 28 日 (月)

7. 申 込 方 法：参加希望者は勤務先、連絡先、氏名および会員の種別を明記(様式随意)し、上記参加費を添えて土木学会関西支部へお申込み下さい。参加者には参加証をお送りしますから両日とも必ずご持参下さい。参加証のない人は入場をお断りします。

(注)都合により講師の順序に変更があるかも知れませんのでご了承下さい。

なお、本講習会第1日終了後別掲のとおり、映画の夕を催しますから多数ご参加下さい。

(2) 映画の夕

▶ 3月14日(火) ◀

1. 日 時：1972 年 3 月 14 日 (火) 16.30 頃より (講習会「騒音振動公害」第1日終了後)

2. 会 場：大阪科学技術センター 8階大ホール 電話 大阪 (06) 443-5321 番

大阪市西区靱1丁目118番地 (地下鉄四ツ橋線本町下車北へ 150m 靱公園北東角)

3. 上 映 映 画：海をひらく技術 16 ミリ カラー 28 分

世界の都市開発 ——世界と日本—— " " 24 分

主塔 ——関門橋主塔建設の記録—— " " 25 分

4. 参 加 費：無料 一般の方の参加も歓迎します。

(付) テキスト頒布について

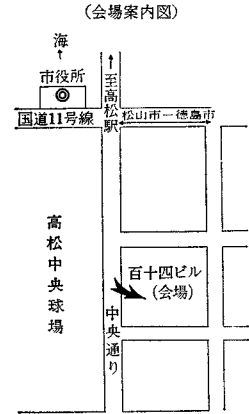
都市廃棄物の処理と処分	頒価	1 000 円	送料	90 円
土木工事における土中水の扱い方	"	1 800 円	"	120 円
工程管理 (演習問題解答付)	"	1 800 円	"	150 円
工事の安全対策	"	1 200 円	"	120 円
近畿開発と大型土木プロジェクト	"	700 円	"	90 円
シールド工法研究会資料	"	200 円	"	55 円
(地下鉄シールドの問題点 シールド工事施工上の問題点の2点1組)				
写真測量とその応用	"	1 400 円	"	120 円
水理学・水文学における最近の進歩	"	1 800 円	"	150 円
プレストレストコンクリート最近の進歩	"	1 400 円	"	120 円
公害振動測定法 (案)	"	無料	"	35 円
昭和 46 年度関西支部年次学術講演概要	{	正 会 員 " 200 円	"	150 円
		学 生 会 員 " 100 円	"	150 円
		非 会 員 " 700 円	"	150 円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。

中国四国支部行事案内 (郵便番号 730 広島市基町 10 番 3 号・自治会館内)
電 0822-21-2666

昭和 47 年度支部総会と年次学術講演会

1. 期 日：1972 年 5 月 25 日(木) 支部総会および特別講演会
26 日(金) 年次学術講演会
27 日(土) 見学会
2. 会 場：高松市亀井町百十四銀行 5~6 階 (TEL. 0878-31-0114)
3. 申 込 方 法：年次学術講演会発表希望者は氏名・連絡先を記入のうえ、
下記にご連絡下さい。申込用紙および申込要領をお送りし
ます。
なお、申込書受付期日は 2 月 23 日(水)となっております
ですので、返送期間を見込んで早めにお申込み下さい。
4. 申 込 先：広島市基町 10 番 3 号(自治会館)内、土木学会中国四国
支部事務局(電 0822-21-2666)
5. 見 学 会：場所・会費・申込方法等くわしくは、おっってお知らせしま
す。



土木学会委員会関係出版物案内

▶ サンフェルナンド地震(1971年2月)の震害について

耐震工学委員会編
B 5 判 32 ページ 口絵写真 4 ページ 定価 350 円(〒 70 円)

▶ 第 17 回橋梁・構造学研究発表会(新材料・新工法を用いた構造物における諸問題に関する研究)講演概要

45.12.5 開催, 日本学術会議構造研究連絡委員会橋梁構造工学学科会・土木学会・日本建築学会共催
B 5 判 106 ページ, 講演 14 編 定価 1000 円(〒 70 円)

▶ 第 7 回衛生工学研究討論会講演論文集

46.1.30~31 開催, 土木学会主催
B 5 判 174 ページ, 講演 16 編 定価 1500 円(〒 100 円)

▶ 第 15 回水理講演会講演集

46.2.12~13 開催, 土木学会主催
B 5 判 93 ページ, 講演 14 編, 定価 800 円(〒 80 円)

▶ 構造物の耐風性に関する第 1 回シンポジウム(1970)論文集

45.5.8~9 開催, 土木学会・日本建築学会・日本気象学会・電気学会・日本鋼構造協会共催
B 5 判 296 ページ, 講演 37 編, 定価 1500 円(〒 100 円)

▶ 流体輸送に関するシンポジウム前刷

B 5 判 142 ページ, 講演 10 編, 定価 1000 円(〒 100 円)

▶ 土木技術者の海外活動別刷

B 5 判 54 ページ 口絵写真 4 ページ 定価 100 円(〒 70 円)

◎申込先：〒 160 東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会刊行物頒布係(電 03 (351) 4132)

西部支部行事案内 (郵便番号 810 福岡市薬院 2 丁目 11 番 51 号)
電話 092-78-3716

(1) 昭和 46 年度支部総会

▶ 2 月 20 日 (日) ◀

1. 期 日: 1972 年 2 月 20 日 (日) (11.30~12.00)
2. 場 所: 九州大学工学部防音教室
3. 議 題: ① 昭和 46 年度事業および会計中間報告
② 来年度事業について
③ 来年度支部長紹介
その他
4. 本掲載をもって総会ご案内といたします。会員多数ご出席下さい。

(2) 昭和 46 年度研究発表会

▶ 2 月 20 日 (日) ◀

1. 期 日: 1972 年 2 月 20 日 (日) (9.000 開場)
2. 会 場: 九州大学工学部防音教室
3. 参 加 料: 無料
4. 論 文 集 代: 1500 円 (当日払)
5. プログラム:

第 1 会場: 土 木 構 造

- | | | |
|----------|--------------------------|-----------------------------|
| ① 9.15~ | I 型断面ばりの弾塑性安定解析 | 九大 榎木 武・○海江田覚正・林田 紀雄・園分 信徳 |
| ② 9.30~ | 歪増分理論による板の弾塑性安定問題の解法 | 九大 榎木 武・○崎山 純治 |
| ③ 9.45~ | 残留応力の影響を考慮したばりの弾塑性安定問題解析 | 宮大 太田 俊昭・○岡田 義美 |
| ④ 10.00~ | 歪増分理論による鋼材の弾塑性振り解析 | 宮大 太田 俊昭・○岡本 良夫・大津留哲矢 |
| ⑤ 10.15~ | 鋼材の非線型復元力特性について | 宮大 彦坂 良次・太田 俊昭・○野田 健二・松本 哲二 |
| ⑥ 10.30~ | 変動荷重を受ける吊橋の弾塑性解析 | 宮大 太田 俊昭・三島 敏博・○村田 重之 |
| ⑦ 10.45~ | 弾塑性動的応答の一解析法 | 熊大 平井 一男・○河野 昭雄 |
| ⑧ 11.00~ | ばりの動的弾塑性応答理論 | 宮大 彦坂 良次・太田 俊昭・○松本 哲二・野田 健二 |
| ⑨ 11.15~ | 周辺固定矩形板の非線形振動 | 長崎大 ○高橋 和雄・九大 榎木 武 |

11.30~12.00 (支部総会 第 4 会場へ)

- | | | |
|----------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| ⑩ 13.00~ | 代表点法による平板の固有値計算法 | 九大 小坪 清真・九工大 高西 照彦・○坪根 康雄 |
| ⑪ 13.15~ | 中略式補剛アーチ橋の固有値解析 一結合法的应用とアーチ水平変位拘束効果一 | 熊大 吉村 虎蔵・平井 一男・○水田 洋司・川崎重工 有吉 和夫 |
| ⑫ 13.30~ | 高橋脚 3 スパン連続トラス橋の振動性状 | 九大 小坪 清真・○萩尾隆吉・鳥野 清・九工大 高西 照彦 |
| ⑬ 13.45~ | 構造物のダンピングに関する一研究 | 熊大 平井 一男・○岩吉 敬輔 |
| ⑭ 14.00~ | 地表面上構造物の動的ばね剛性について | 熊大 秋吉 卓・○滝川 清 |
| ⑮ 14.15~ | 常時微動による構造物の減衰定数推定における問題点 | 九 大 小坪 清真・鳥野 清・○串間 正敏 |
| ⑯ 14.30~ | 地下逸散エネルギーに関する実験的研究 | 九大 小坪 清真・○鶴田 幸 |
| ⑰ 14.45~ | Feed-Back 理論を応用した地盤-剛体系の地震応答解析 | 九 大 小坪 清真・九工大 ○高西 照彦 |
| ⑱ 15.00~ | 地中構造物への地盤係数の寸法効果 | 九大 小坪 清真・○中尾 吉宏・九工大 高西 照彦 |
| ⑲ 15.15~ | 多層地盤中構造物の振動性状 | 熊大 秋吉 卓 |
| ⑳ 15.30~ | 地中構造物に作用する地盤反力の周波数特性 | 九大 小坪 清真・○吉浦 正文・九工大 高西 照彦・佐賀大 荒牧 軍治 |
| ㉑ 15.45~ | 沈埋管と地盤との地震時相互作用について | 九大 小坪 清真・○村田 繁 |
| ㉒ 16.00~ | 水平および垂直地盤反力係数の相違を考慮した円形覆工の解析 | 九大 榎木 武・○宮崎 修 |

第 2 会場: 水 工 学

- | | | |
|----------|-----------------------------|-----------------------------|
| ① 9.15~ | 澄りぜきにおける流量算定法について | 九大 上田年比古・○埜口 英昭 |
| ② 9.30~ | 管網計算における精度と計算回数について | 九産大 崎山 正常・○江口 隆・古川真砂憲・田本 素一 |
| ③ 9.45~ | 自由地下水面をもつ半無限領域内の未滴水円形暗きょ取水量 | 九大 上田年比古・○杉尾 哲 |
| ④ 10.00~ | 選択取水一方向取水について | 長崎大 ○古本 勝弘・藤田 紀夫・武政 剛弘 |
| ⑤ 10.15~ | 密度噴流に関する実験的考察 | 九大 小松 利光・○井沢 一 |
| ⑥ 10.30~ | 密度噴流における連行現象 | 九大 榎 東一郎・○小杉 利光 |
| ⑦ 10.45~ | 峡谷堆積土砂の流動 (第 2 報) | 九大 榎 東一郎・平野 宗夫・○内村 好 |

- ⑧ 11.00～ 河床波の性状と流れ 九大 渡辺 訓甫・○岡田 豊昭・正木 清嗣
- ⑨ 11.15～ ハイエトグラフを用いる合理式流出量算定法 宮大 ○石黒 政儀・成功大 張 王 田

11.30～12.00 (支部総会 第4会場へ)

- ⑩ 13.00～ 大淀川の経年水質変動と予測について 宮大 石黒 政儀・○池辺 大吉
- ⑪ 13.15～ 雨天時下水の水質変動に関する研究 宮大 石黒 政儀・○島海 敏文・西 信俊
- ⑫ 13.30～ 下水道雨水流出に関する実測的研究(第5報) 宮大 石黒 政儀・久徳 一崇・○田中 豊
- ⑬ 13.45～ 洪水流の理論に関する研究(1) 九電 村瀬 次男
- ⑭ 14.00～ 台風性降雨の統計的予測について 宮大 石黒 政儀・○木川 良二
- ⑮ 14.15～ 筑後川上流部における流出解析(特性曲線法) 九大 篠原 謙爾・北島 崇雄・○藤下 幸三
- ⑯ 14.30～ 筑後川の流域・流出解析 九大 榑 東一郎・○竹石 和夫
- ⑰ 14.45～ 直立消波岸壁の一形式について 九大 井島 武士・○佐々木富雄・周 宗仁
- ⑱ 15.00～ 関門海峡、霧灘の潮流計算について 第四港建 山下 博通・○川上 善久
- ⑲ 15.15～ 別府湾における風と波 一冬期季節風による波浪について(1) 大分工大 竹光 義信
- ⑳ 15.30～ 圧力波と水面波の相関に関する数値実験 九大 井島 武士・○富吉 従夫・山根 信
- ㉑ 15.45～ 浸水角柱に作用する波力と波の変形 九大 井島 武士・○浅田 透・坂井 久雄
- ㉒ 16.00～ 有限水深の波による円柱状浮体の運動について 九大 井島 武士・○田淵 幹修・湯村 やす
- ㉓ 16.15～ 有限水深の波による矩形断面浮体の運動について 九大 井島 武士・田淵 幹修・○吉田 明徳・谷山 正樹

第3会場:土質工学

- ① 9.15～ 杭の引抜抵抗 九産大 石堂 稔・○野間口朋義・斎藤 秀雄・田中 義久
- ② 9.30～ 杭の先端抵抗について 九産大 ○石堂 稔・石橋 英雄・宮原 洋
- ③ 9.45～ 脆性理論の歪エネルギー解放割合の基礎的実験について 福大 吉田 信夫・○長峰 清雄
- ④ 10.00～ 粒状体の応力-歪曲線へのスペクトル解析について 福大 吉田 信夫
- ⑤ 10.15～ 締固めた不飽和土の応力・ヒズミについて 佐賀大 鬼塚 克忠
- ⑥ 10.30～ 乱さない風化シラスのセン断特性について(2) 鹿大農 春山 正寿
- ⑦ 10.45～ 乱さないシラス供試体の強度特性について(第2報 含水比の影響) 九大 山内 豊聡・鹿児高専 ○村田 秀一
- ⑧ 11.00～ シラスの地山における溶脱現象について 九大 山内 豊聡・○松田 滋・鹿児高専 村田 秀一
- ⑨ 11.15～ シラスの圧縮性について 宮大 藤本 広・○荒巻 英次・都城高 上村 芳裕・桑山 信義

11.30～12.00 (支部総会 第4会場へ)

- ⑩ 13.00～ 締固めた不飽和土の間ゲキ水圧 佐賀大 鬼塚 克忠・九大 ○福岡 重昭
- ⑪ 13.15～ 過圧密土の繰返し圧密特性について 九大 山内 豊聡・○弓削 公利・西日本工大 安原 一哉
- ⑫ 13.30～ 砂と壁面間の摩擦特性 九産大 石堂 稔・○関 直三郎・井上 義俊
- ⑬ 13.45～ 砂の静的繰返しセン断特性 九大 山内 豊聡・長崎大 ○落合 英俊
- ⑭ 14.00～ 非粘性材料のセン断特性に及ぼす水の影響(続報) 佐賀大 鬼塚 克忠・九大 ○滝本 保
- ⑮ 14.15～ フィルタイブダム用ロック材のセン断試験結果について 九電 赤司 六哉・○高田 真・中島 隆士
- ⑯ 14.30～ 火山灰土の強度回復に関する実験的研究 熊大 鈴木 敦己・○荒牧昭二郎
- ⑰ 14.45～ ソーラ層の工学的特性について 九大 山内 豊聡・巻内 勝彦・西日本工大 ○安原 一哉
- ⑱ 15.00～ 電気浸透法によるヘドロの圧密促進に関する実験 九大 山内 豊聡・三信建設 田中 良一
- ⑲ 15.15～ 海底底質のフルイ分け作用について 宮大 吉高 益男
- ⑳ 15.30～ 流れによる浸食について 鹿児高専 田原 誠
- ㉑ 15.45～ グラスファイバーを混合した加熱アスファルト混合物についての基礎的実験について 福大 吉田 信夫・○松永 道広
- ㉒ 16.00～ アスファルト混合物の配合について 佐賀大 ○樋渡 正美・東洋建設 原 敬一

(衛生工学)

- ㉓ 16.15～ プラスチック廃油と消化汚泥の合併処分について 福大 ○花鳥 正孝・松田 有弘
- ㉔ 16.30～ 乱流中におけるブロックの成長と破壊の平衡について(第3報) 九大 粟谷 陽一・楠田 哲也・○江副章之介
- ㉕ 16.45～ 気泡噴流による2層流の混合(第3報) 九大 粟谷 陽一・○北野 義則
- ㉖ 17.00～ ブロックの凝集沈降に関する一考察 九大 粟谷 陽一・楠田 哲也・桐岡 洋子・○古賀 憲一

第4会場 交通工学・国土計画

- ① 9.15～ 航空旅客数のスペクトル解析について 福大 吉田 信夫・○定松 優
- ② 9.30～ 数量化理論による福岡空港旅客の要因分析 福大 吉田 信夫・○村上 昭文
- ③ 9.45～ 都市の通勤流動について 福山コンサルタント 三宅 秀隆・○横内 輝彦
- ④ 10.00～ 発生交通モデル式の検討 福山コンサルタント 三宅 秀隆・○岸 敏司
- ⑤ 10.15～ 走行車中からの交通量推計について 宮大 藤本 広
- ⑥ 10.30～ 海岸事業における投資効果分析について 第4港建 原田 修・○川島 康宏
- ⑦ 10.45～ 弾性曲線による道路線型設計手法 九州共立大 薄 慶治

11.00～ (支部総会準備および総会会場)

- ⑧ 13.00～ コンタクトレス変位計の2,3の応用について 熊大 ○吉村 虎蔵・藤田 昌大・田中愛一郎・吉村 健
- ⑨ 13.15～ 任意形孔列を有する帯板の引張り 九大 後藤恵之輔・○小八重恵明
- ⑩ 13.30～ 曲げをうけるキャストレーテッド・ビームの応力解析 九大 後藤恵之輔

- ⑩ 13.45~ 細長いH型部材の風洞実験 熊大 吉村 虎蔵・〇吉村 健・三浦 秀一
- ⑪ 14.00~ ビン結トラスの部分構造による解法 熊大 三池 亮次・〇石田 寛正
- ⑫ 14.15~ 単支間の上路式補剛アーチ橋の模型実験
熊大 吉村 虎蔵・田中愛一郎・〇久保山孝治・佐世保重工 五反田 進
- ⑬ 14.30~ 3ヒンジアーチの座屈に関する一考察 長崎大 崎山 毅
- ⑭ 14.45~ トラス部材の細長比に関する研究(第3報) 熊大 三池 亮次・松本 弘一・〇榑 勝美
- ⑮ 15.00~ 一本柱フラット・スラブ構造の柱座屈について
九大 榑木 武・〇井福 周介・長崎大 高橋 和雄
- ⑯ 15.15~ 骨組構造解析における相似律について 熊大 三池 亮次・秋吉 卓・〇松本 弘一
- ⑰ 15.30~ 周辺が弾性支持される扇形平板の解法 九大 金子 忠男・〇大塚 久雄
- ⑱ 15.45~ 基本系法によるフラット・スラブ構造の影響面解法 九大 榑木 武・〇中村 龍一

第 5 会場 土木材料・施工法

- ① 9.15~ コンクリートの三軸圧縮強度 九大 徳光 善治・〇松下 博通
- ② 9.30~ 1週間載荷を繰り返したコンクリートのクリープ
福大 大和 竹史・坂田 義明・〇入野 幸二・川原 道憲
- ③ 9.45~ コンクリートのねじりクリープ試験 九工大 出光 隆・〇M.R. カルマチャリヤ・金子 新
- ④ 10.00~ 共鳴震動によるコンクリートの圧縮強さについて 九州共立大 天野 一彦
- ⑤ 10.15~ 粗骨材容積がコンクリートの弾性係数に及ぼす影響 九大 石川 達夫・〇山本 正治
- ⑥ 10.30~ 高温を受けたコンクリートの強度低下について 福大 大和 竹史・坂田 義明・〇前村 俊次
- ⑦ 10.45~ コンクリートの遅延弾性変形について 九大 大 宮川 邦彦
- ⑧ 11.00~ 霧島川流域のコンクリート構造物の浸食について 鹿兒高専 榑渡 重徳・〇斎藤利一郎
- ⑨ 11.15~ シース内グラウト水の凍結によるコンクリートひびわれについて
福大 〇大和 竹史・日新鋪道 山下 一友

11.30~12.00 (支部総会 第 4 会場へ)

- ⑩ 13.00~ 疎水性繊維の目詰まりについて 九産大 〇青柳 茂敏・崎山 正常・日本アイディア 村尾 修治
- ⑪ 13.15~ 各種路盤材料の等値換算係数について 福大 吉田 信夫・才田組 〇百田 政治
- ⑫ 13.30~ PERT に関する論理判断機構の導入(1) 清水建設・〇高崎 英邦・神戸 國夫
- ⑬ 13.45~ 洗剤系おたびたん白系起泡剤を用いたエアモルタルの諸性質に関する一実験
九電 是石 俊文・〇杉田 英明・清国 三朗
- ⑭ 14.00~ 各種コンクリートの透水係数測定結果 福大 大和 竹史・坂田 義明・〇川崎太賀志・妹尾 憲二
- ⑮ 14.15~ 各種コンクリートの凍結融解試験結果について
福大 大和 竹史・〇鈴木 伸一・久米 雅成・中村 英明
- ⑯ 14.30~ 各種コンクリートの乾燥硬化収縮量について 福大 大和 竹史・〇坂田 義明・友田 雅則
- ⑰ 14.45~ 高炉スラグ砕石コンクリートに関する 2,3 の実験 九工大 出光 隆・〇豊福 俊英・岡林 巧
- ⑱ 15.00~ 海砂のコンクリート骨材としての利用 九大 〇石川 達夫・岡 紀雄
- ⑲ 15.15~ 砕石、軽量および重コンクリートに関する一考察 大分工大 三浦 正昭
- ⑳ 15.30~ 中層熟ポルトランドセメントを用いたマスコンクリートの長期的諸性状について
九電 田代 信雄・〇是石 俊文
- ㉑ 15.45~ RC桁の逐次セン断破壊現象に関する理論的解明 宮大 太田 俊昭・〇山崎 竹博・金沢 学
- ㉒ 16.00~ 模型コンクリートグイの打撃時応力について 九工大 渡辺 明・渡辺 義則・〇高山 俊一
- ㉓ 16.15~ コンクリートの爆裂に関する基礎的実験
福大 大和 竹史・坂田 義明・〇遠田 勝美・大塚 英俊
- ㉔ 16.30~ コンクリート柱の破壊について 九大 徳光 善治・〇江崎 哲郎
- ㉕ 16.45~ PCT 橋の模型実験 九工大 〇出光 隆・松岡 康訓・内海 章光

サンフェルナンド地震(1971年2月)の震害報告書頒布について

1971年2月9日にカリフォルニア南部を襲った地震はダム・橋梁・電力設備・住宅などに大被害をもたらした。この地震で近代的施設が被災したことが都市防災の立場から注目され、土木学会では構造物の耐震に関する研究を行なう立場から9名からなる調査団を現地へ派遣して震害調査を行なった。

本報告書はこの調査団の調査結果にもとづいて構造物の被害状況とその発生についてとりまとめたもので、将来土木構造物の耐震性を検討する場合に大いに参考となるものであり、広くご一読されるようおすすめする。

なお、本書は土木学会論文報告集に掲載したものに、口絵写真を追加して別冊としてとりまとめたものである。

内 容：1. カリフォルニア南部の地震事情／2. サンフェルナンド地震／3. ダム・電力設備・給水設備の被害／4. 埋設パイプラインの被害／5. 道路・橋梁の被害／6. 鉄道の被害／7. 地震に際してとられた諸措置と得られた教訓

体 裁：B5判 8ポ2段組 32 ページ、口絵写真 4 ページ
定 価：350 円 送料：70 円

「土木学会原稿用紙」の価格改正のご案内

土木学会の各種論文執筆用の専用原稿用紙の価格を、生産費の値上り等に伴い 47 年 1 月より下記のとおり改訂させていただきます。

昭和 47 年 1 月

土木学会

記

旧価格 1 冊 60 円を 1 冊 100 円に改正 (47 年 1 月より)

但し、送料は現行どおりですので原稿用紙代に下記金額をそえて、お申込み下さい。

1 冊・45 円 / 2 冊・75 円 / 3 冊・85 円 / 4 冊・115 円 / 5～8 冊・200 円

注文先：〒 160 / 東京都新宿区四谷 1 丁目 社団法人土木学会 事務局編集課原稿用紙係

以上

映画会開催について < 於土木学会講堂 >

▶ 3 月 11 日 (土) ◀

1. 場 所：土木図書館講堂 (東京都新宿区四谷 1 丁目 国電・地下鉄四ツ谷駅下車)

2. 日 時：毎月第 2 土曜日 14.00～3 月は 11 日 (土) です。

3. 上映映画：3 月はトンネル掘削機・シールド関係を予定しております。

「地下を進む都市開発」「岩盤に挑む」「シールド工法」「硬岩トンネルマシン」「東京の地下に挑む」「犬山導水トンネル」その他

なお、上映映画は都合により変更することがございますので、あらかじめご了承下さい。

4. 参加費：無 料 土木関係以外の方も歓迎致します。

本映画に関する問合せは、土木学会視聴覚教育委員会宛にお願い致します。

共 催：土木学会関東支部

「土木学会誌」広告料金一部改訂について

土木学会誌は大正 4 年 2 月 (1915 年 2 月) に第 1 巻第 1 号を発行して以来、本年で 57 年目を迎えました。この間、学会の看板として多くの会員に親しまれ、内容の充実、会員数の増加に伴う発行部数の飛躍的増加となって、土木技術の進展とともに成長して参りました。これもひとえに関係各位のご協力の賜と深く感謝いたしております。しかしながら今後より一層、誌面を刷新し情報化時代に即応した内容を充実してゆくことは、最近の諸物価、とくに印刷人件費の高騰を考えた場合、非常に困難となって参りました。つきましては広告利用者各位にはまことに申し訳ありませんが、47 年 4 月号より 3 年ぶりに広告料金の一部改訂の止むなきに至りましたので、よろしくご賢察、ご協力のほどお願い申し上げます。

土木学会誌 1 ページあたり広告料金 (単位ページ・円)

	表紙 2	表紙 3	表紙 4	後 付	色 紙	繰 込 (持込み)
旧 料 金	70 000	60 000	80 000	45 000	50 000	60 000
改 訂 料 金	据 置 き	据 置 き	据 置 き	50 000	60 000	据 置 き

* 1/2 ページの場合は半額とする。

<p>コンクリート委員会編</p> <p>コンクリート 標準方書 42年版</p> <p>B 6・438 1000 円</p> <p>会員特価 800 円(〒150)</p>	<p>トンネル工学委員会編</p> <p>トンネル 標準方書 解説 44年版</p> <p>A 5・144 800 円</p> <p>会員特価 700 円(〒80)</p>
<p>コンクリート委員会編</p> <p>コンクリート 標準方書 解説</p> <p>A 5・354 1300 円</p> <p>会員特価 1000 円(〒150)</p>	<p>トンネル工学委員会編</p> <p>シールド工法指針 44年版</p> <p>A 5・138 800 円</p> <p>会員特価 700 円(〒80)</p>
<p>コンクリート委員会編</p> <p>プレパックドコンクリート 施工指針 案</p> <p>B 6・38 220 円</p> <p>会員特価 180 円(〒50)</p>	<p>トンネル工学委員会編</p> <p>沈埋トンネル要覧 新刊</p> <p>B 5・188 2000 円(〒140)</p>
<p>コンクリート委員会編</p> <p>人工軽量骨材コンクリート 設計施工指針 案</p> <p>B 6・34 300 円</p> <p>会員特価 250 円(〒50)</p>	<p>コンクリート 29 PC工法小委員会編</p> <p>フレッシュ工法 設計施工指針 案</p> <p>B 5・124 1100 円</p> <p>会員特価 1000 円(〒80)</p>
<p>コンクリート委員会編</p> <p>鉄筋コンクリート 工場製品 設計施工指針 案</p> <p>B 6・228 650 円</p> <p>会員特価 550 円(〒80)</p>	<p>コンクリート 30 PC工法小委員会編</p> <p>フープ工法 設計施工指針 案</p> <p>B 5・84 1000 円</p> <p>会員特価 900 円(〒80)</p>
<p>コンクリート 3 異形鉄筋設計例改訂小委員会編</p> <p>異形鉄筋を用いた 鉄筋 コンクリート 構造物の 設計例</p> <p>B 5・92 700 円</p> <p>会員特価 600 円(〒80)</p>	<p>土木計画学研究委員会編</p> <p>土木計画学講習会 テキスト</p> <p>1. 800 円 会員特価 700 円 3. 1200 円 会員特価 1100 円</p> <p>2. 1200 円 会員特価 1100 円 4. 1200 円 会員特価 1100 円</p>
<p>新潟震災調査委員会編</p> <p>新潟地震震害 調査報告書</p> <p>B 5・904 10000 円</p> <p>個人 9000 円(〒500)</p> <p>会員特価</p>	<p>土木計画学研究委員会編</p> <p>土木計画学シンポジウム</p> <p>1~4 各 700 円(〒100)</p>
<p>川俣アーチダム編集小委員会編</p> <p>工事報告 川俣アーチダム</p> <p>B 5・332 2000 円</p> <p>会員特価 1600 円(〒170)</p>	<p>土木学会編</p> <p>土木学会投稿の手引き</p> <p>B 5・36・付録付き</p> <p>350 円(〒70)</p>